

令和8年度

ひきこもりの総合的な支援の推進



令和8年8月21日

生活福祉課 自立支援担当



ひきこもりの総合的な支援の推進



1. 令和7年度ひきこもり支援の取組について

- ・文京区ひきこもり支援センター報告
- ・ひきこもり等自立支援事業（STEP事業）報告
- ・講演会・茶話会・UX女子会・研修 実績報告
- ・相談受付のオンライン化 報告

2. 令和8年度ひきこもり支援の取り組みについて

- （1）相談・支援につながる体制の強化 ①効果的な情報発信の検討
②相談へのハードルを下げる
- （2）区民も含めたひきこもりの方へのサポートの体制
重層的支援体制整備事業との連携
- （3）広域連携支援の取組

3. 令和8年度文京区ひきこもり支援活動計画

1. 令和7年度ひきこもり支援の取組について 文京区ひきこもり支援センター報告



相談実績

		令和5年度	令和6年度	令和7年度
延べ相談(件)		271	253	342
新規相談(件)		56	47	35
相談者内訳	本人	20%	23%	34%
	家族	59%	58%	60%
	その他	21%	20%	6%

新規相談_初回相談の相談者

項目	最初の相談者（人数）						小計
	当事者	親		兄弟姉妹	その他、不明等		
		うち、50歳以上	うち、80歳以上				
電話相談	7	1	5	1	3	2	17
来所相談	4	0	3	0	2	3	12
訪問相談	0	0	0	0	0	0	0
メール相談	1	0	0	0	0	0	1
SNS等オンラインによる相談	0	0	3	0	0	0	3
その他	0	0	1	0	0	1	2
計	12	1	12	1	5	6	35

相談手法別実績

項目		件数(延べ数)
電話相談		159
メール相談		13
SNS等オンラインによる相談(メール除く)		5
来所相談		136
訪問による相談		25
その他	同行	4
	郵便	0
計		342

年代別、性別の実相談人数

項目	性別			実人数
	男	女	その他	
10代	2	5	0	7
20代	4	3	0	7
30代	9	3	0	12
40代	3	2	0	5
50代以上	5	4	0	9
年齢不明	2	2	1	5
計	25	19	1	45

1. 令和7年度ひきこもり支援の取組について ひきこもり等自立支援事業（STEP事業）報告



相談実績

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
延べ相談(件)	998	984	969
新規相談(件)	29	22	36

新規相談_初回相談の相談者

項目	最初の相談者（人数）						小計
	当事者	親		兄弟姉妹	その他、 不明等		
		うち、50歳 以上	うち、80歳 以上				
電話相談	0	0	1	0	0	0	1
メール相談	0	0	0	0	0	0	0
SNS等オンラインによる相談	0	0	0	0	0	0	0
来所相談	16	2	15	0	0	4	35
訪問相談	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
計	16	2	16	0	0	4	36

相談手法別実績

項目	件数（延べ数）
電話相談	147
メール相談	0
SNS等オンラインによる相談(メール除く)	0
来所相談	796
訪問による相談	22
計	969

年代別、性別の実相談人数

項目	性別			実人数
	男	女	その他	
10代	4	4	0	8
20代	10	3	0	13
30代	2	6	0	8
40代	0	2	0	2
50代以上	1	2	0	3
年齢不明	0	0	0	0
計	17	17	0	34

1. 令和7年度ひきこもり支援の取組について

講演会・茶話会・UX女子会・研修 実績報告



【STEP事業】

講演会

講演会 3回
対象：区民・家族

日時	内容	講師	参加者数
6月21日	「タフラブ 絆を手放す生き方」について	信田さよ子氏 (公認心理師)	118人
10月18日	「ひきこもりの家族はなぜ苦悩するのか～福祉社会学の観点から～」	関水徹平氏 (明治学院社会福祉学科准教授)	22人
2月22日	「対話をするということとは」	森川めいすい氏 (精神科医、鍼灸師)	74人

茶話会

茶話会 6回
対象：家族

実施月	5月	7月	9月	11月	1月	3月
参加人数	4人	4人	10人	2人	3人	7人

【UX女子会】

開催日	場所	参加人数 (女子会・つながる待合室)
5月20日	国立市	3人
6月18日	豊島区	54人
7月6日	武蔵野市	34人
7月17日	東大和市	18人
8月8日	文京区	47人
9月25日	日野市	35人
10月23日	国分寺市	67人
11月16日	昭島市	31人
12月18日	新宿区	53人
1月23日	杉並区	64人

【研 修】

日時	内容	対象	参加者数
7月24日	HDSK会(富坂・本富士)	支援機関職員	15人
7月28日	ひきこもりサポーター養成研修	民生・児童委員	7人
9月4日	ひきこもり支援従事者研修 (近藤先生SV・アセスメント)	福祉、教育、保健分野等で業務に従事している 支援従事者	20人
9月25日	HDSK会(駒込・大塚地区)	支援機関職員	18人
11月20日	ひきこもり支援従事者研修 (近藤先生SV・事例検討)	福祉、教育、保健分野等で業務に従事している 支援従事者	21人
1月22日	ひきこもり支援従事者研修 (近藤先生SV・ケース運営会議)	福祉、教育、保健分野等で業務に従事している 支援従事者	22人

1. 令和7年度ひきこもり支援の取組について 初回相談予約のオンライン化について



電話、来所がとても苦勞します。メール対応、ホームページのお問い合わせ欄、チャットGPT等SNSでの対応もして貰えますか？直接対面が苦手や怖い、馴れるのに時間が掛かる等有るからです。

令和6年度調査（自由意見）

令和7年9月～の結果

- ・ 令和7年9月1日より「LoGoフォーム」にて初回相談の予約を開始。
- ・ 11名の方から予約があった（令和8年6月15日現在）。
- ・ 現時点では長期休暇や土日に予約が入ることが多い。

相談者（人数）					合計
当事者	家族		対象外		
	うち、対面や電話 で相談済み	うち、対面や電話 で相談済み			
2	2	8	6	1	11

相談された方の感想



chatGPTに教えてもらって予約しました。

できないことはないですが、電話でのやり取りはハードルが高いと感じていたのでありがたいです。



本人に相談予約を促す時に、電話だとハードルが高いがメールのみで済むと勧めやすいですね。

相談までの流れ

HPにアクセスしURLをクリック→相談者がLoGoフォーム入力し送信→組織メールに内容が届く→3営業日以内にセンターより日程調整のメールを送る。

LoGoフォームでの質問項目

- Q1. 相談者様のお名前(匿名可)ご住所、ご連絡先を入力ください。（相談対象はひきこもり当事者の方が15才以上の文京区民、もしくは相談者が文京区民の方です）
- Q2. ひきこもり当事者の方とのご関係をお選びください。
- Q3. ひきこもり当事者の方のご年齢をご入力ください。
- Q4. 相談者様が当事者の方でない場合、ひきこもり当事者の方のお住まいをご入力ください。（対象はひきこもり当事者の方が15才以上の文京区民、もしくは相談者が文京区民の方です）
- Q5. ご連絡方法の希望(希望された連絡方法は必ず入力してください。)
- Q6. 電話での連絡を希望された方は、ご希望の時間を選択してください。
- Q7. 自由記載(300文字まで可能)

2. 令和8年度ひきこもり支援の取り組みについて



【文京区ひきこもり支援の目指す方向性】

ひきこもり本人・家族等 つながる体制にむけて

効果的な情報発信の検討
相談へのハードルを下げる取組の検討

区民 受け止め、支える地域共生社会にむけて

ひきこもり支援に関心のある区民を増やす
ひきこもり本人にアウトリーチできる区民を育成する
ひきこもり地域共生サポート事業の実施

支援機関・支援者等 支援の連携強化に向けて

多機関・多職種連携を図る
重層的支援体制整備事業との連携を深めていく

令和8年度

<効果的な情報発信の強化>

- ・STEP事業講演会のチラシ（裏面）を改善
ひきこもり本人や家族等からのニーズの高い情報を掲載

<ひきこもりサポーター養成研修の対象者拡大>

- ・ひきこもりサポーター養成研修の対象を一般区民へ

<ニーズに合ったプログラム>

- ・就労の機会拡充の為に内職活動の支援メニューを追加

次年度以降の取組

<効果的な情報発信の強化>

- ・ひきこもり支援についての動画作成（案）
ひきこもり本人や家族等からのニーズの高い情報を掲載

<ひきこもりサポーターやアウトリーチサポーターを広げる>

- ・アウトリーチサポーターの活動紹介

<ニーズに合ったプログラム>

- ・利用者の年齢層にあったプログラムの検討

2. 令和8年度ひきこもり支援の取り組みについて

(1) 相談・支援につながる体制の強化 ①効果的な情報発信の検討



講演会チラシの活用 発行部数 8,700部/年 (2,900部×3回)

令和8年度 表面のデザインを変更

令和8年度 裏面の掲載内容を変更

文京区STEP事業

ひきこもり講演会

わが子の“いま”をどう受けとめるか
— 不登校と向き合う親のためのお話
～臨床心理の第一人者が語る、子どもの心の理解と支え方～

長年の臨床実践とスクールカウンセリングの経験をもとに、不登校の子どもたちの心の動きと回復のプロセスをわかりやすく解説します。「いま」のわが子をどう受けとめ、親としてどのように寄り添えばよいのか——具体的な関わり方のヒントをお届けします。

講師：野島 一彦氏
臨床心理士、公認心理師、九州大学名誉教授、日本心理臨床学会元理事長等、多数の学会の運営を兼任、臨床心理を専門とし、スクールカウンセリングや家族支援の分野で長年実践と研究を続けてきた第一人者。
野島一彦氏HP: <https://nojimakazuhiko2022.jimdofree.com/>

開催日時 講演会終了後、個別相談会(入場6組)を実施します。
令和8年 6/27(土)
午前10時00分～午前12時00分(開場9時30分)
申込み(講演会・個別相談会共通)
【申込先】 文京区ひきこもり支援センター
【申込方法】 ①電子申請(右の二次元コードを読み取る) ②電話 03(5803)1917
【申込期間】 5月15日(金)～6月22日(月)
【対象】 文京区、千代田区、中央区、台東区在住の方優先。(個別相談会、茶話会 在住の方)

講演会の内容はYouTubeで配信します 配信期間 令和8年7月14日～令和9年2月28日

ステップ1 左記の二次元コードを読み取る
ステップ2 YouTubeのURLが書いてあるページが表示されます
ステップ3 URLをクリックすると講演会のYouTubeが表示されます

茶話会

家族のひきこもりでお困りの方同士の情報交換や、テマトークを通して、家族の望ましい預け方、サポートの手法などを学びましょう。
(定員20名(申込限))

開催日時 令和8年 7/25(土) 令和8年 9/5(土)
午前10時00分～午前12時00分(開場9時30分)
申込み 茗荷谷クラブ (03-3941-1613, bunryo@skc-net.or.jp) 締切 ①7月21日(火) / ②8月31日(月)

ひきこもり相談は TEL: 03(5803)1917
文京区ひきこもり支援センター で検索

令和8年度第1回講演会よりデザイナーに依頼。

メイン色を黄色→緑色をとし、やわらかい印象に変更。

ひきこもりの事業と分かるように公式キャラクターハウさんを使用。

2月ひきこもり講演会「対話することとは」を開催しました

当日は、多くの方にご参加いただきました。ありがとうございました。
参加者全員が大きな一つの輪になり、オープンダイアログ形式の対話を体験しました。
※日時: 令和8年2月22日 ※会場: 文京区民センター
※講師: 森川すいめい氏 ※参加者: 74人

参加してくださった方の声を一部紹介します

参加者の声

- ◆話を聞かせること、そのことではじめる内対話を重視して手際すること、横断から難しいけど横断からできることかなーまた活かせるようにしたいです。
- ◆人が自分の心の内を話したい、と思える場、関係性(安心・安全・リラックス・自分は自分のままで受け入れられているという信頼)があって対話ははじまるのだと体験的に感じることができました。
- ◆誰のこともどんな姿も否定しない、静かだけだと活き活き

ひきこもり本人・家族が必要と思われる情報を掲載

ひきこもりに関連するいろいろな声を紹介

居心地の良い場所ってどんなところ? ～経験者からのヒント～

ひきこもりの「居場所」というと、当事者会や支援機関が主催する集まりで人と交流するイメージがあるかもしれませんが、でも、「居場所」は特定の場所や行為をするところに限らない、本来もっと多様なものです。「それぞれに居心地よく過ごせる場所や方法がある」という経験者の声を紹介します。

出演: コーバーさんのおとりとさまエネ専年輪ライブ
-BOSOサバイバルガイド-

割田 大樹さん
ひきこもり当事者グループ「ひき様」代表

当事者の間では、図書館は一人でいられてすごく居心地が良いと話題になることがあります。個人的には、散歩しながら景色や街並みが微妙に変わっていくのを見たり、商業施設をうろうろしてウィンドウショッピングをしたりしています。いろいろなものを見る楽しみや、普段行っているところでもちょっとした変化を感じたりして、少しだけ心がまぎれり居心地の良さになっています。

本事業は文京区から公益社団法人青少年職業支援センターが実施しています
高岡谷クラブ [住所] 文京区小田4-6-8 三
[利用時間] 月～土 (祝日除く)

ご相談・支援メニューは、文京区ひきこもり支援センター 03(5803)1917へ
その他問合せは、文京区ひきこもり支援センター 03(5803)1917へ

1. 令和8年度ひきこもり支援の取組について

令和8年度STEP事業 社会参加事業 プログラム変更



利用者のニーズに合わせて社会参加事業のプログラムを農業体験から内職活動へ変更。

はじめてのワークラボ

内職の内容 STEP事業で行っている講演会のチラシ・ポスターの発送準備、制服の名前の刺繍ほどこ等

内職活動日 毎月第1月曜日 15時～17時

参加人数

4月の活動内容 講演会チラシ・ポスター発送準備 参加実人数4名（うち文京区民2名）
6月の活動内容 刺繍ほどこ（依頼主を招いて制服リユースや作業のコツをお聞きする）
参加実人数2名（うち文京区民1名）
8月の活動内容 講演会チラシ・ポスター発送準備
参加実人数4名（うち文京区民2名）

講演会チラシ・ポスター発送準備

プログラム実施で工夫した点

- ・ 普段の居場所と異なり仕事体験の場であることをチラシや冒頭で改めて伝えた。
- ・ メンバーの集中力持続のため25分作業・5分休憩という時間管理をし、メリハリをつけて行った。



普段集中するのが難しいメンバーも、作業時間中は黙々と作業する様子も見られた。

今後への課題

- ・ 今回初めてで作業の勝手が分からなかったからか、作業全体をブレイクダウンし、限られた時間でメンバーにわかりやすく指示を出せるようになるまでスタッフ側が下準備をすることが一番大変だった。
- ・ 当日参加するメンバーの理解力や器用さなどにより、大きく作業量が変わる可能性がある。
- ・ 作業スペースの窮屈さなど。

1. 令和8年度ひきこもり支援の取組について

研修について



ひきこもり支援従事者養成研修 9月、11月

対象 福祉、教育、保健分野等で業務に従事している支援従事者
講師 近藤直司氏（精神科医。大正大学人間学部臨床心理学科教授）

■ 9月17日（木）9：30～12：00 @シルバーセンターA会議室 （アセスメント研修）

〔目的〕 ひきこもり支援に関わる職員のうち支援経験年数の少ない職員に対し、アセスメントシートの作成をととして、アセスメントスキルの向上や支援者としての資質向上を図る。

〔内容〕 アセスメントシートの書き方、アセスメントに関しての講義、修正など個人ワーク、グループ内発表

■ 11月19日（木）10：00～12：00 @1001会議室 （事例検討→[講義「8050ケースへの支援」](#)）

〔目的〕 ひきこもり支援に関わる可能性がある職員に対し、ひきこもりに関しての理解向上を図る。

〔内容〕 ひきこもり状態にある方やそのご家族の理解を深めるために講義形式で知識を深める。

ひきこもりサポーター養成研修 7月

対象 民生委員・児童委員→[文京区民](#)
講師 井利由利氏（公益社団法人 青少年健康センター 茗荷谷クラブ理事）

■ 7月22日（水）10：00～12：00 @2101会議室

〔目的〕 文京区民に対し、ひきこもりについての基礎的な知識の習得に加え、地域内で把握しているひきこもり当事者や世帯の支援に関わる課題の共有や検討を行うこと

〔内容〕 ひきこもりの基本的な知識、基本的な話の聞き方のコツやアウトリーチのやり方、STEP事業について、ひきこもり世帯の状況把握と関わり方について

〔参加者数〕 22名

2. 令和8年度ひきこもり支援の取り組みについて

(2) ひきこもりサポーター養成研修の対象者拡大



ひきこもりサポーター養成研修

【これまでの取り組み】 令和2年度～7年度まで民生委員に対する研修として実施。

【令和8年度からの取り組み】

目的：ひきこもりに対する理解者の裾野を広げる。

対象：今年度より全区民

内容：ひきこもりに関する基礎知識

関心はあり、知識としては知っておきたい (R6調査：50.8%)

アウトリーチサポーター養成研修

【目的】 自らが相談に来られない場合でも支援を届けられる人材を増やす

【対象】 R6年度：8名 R7年度：9名。文京区在住者に限らず

【内容】 アウトリーチに関する知識等 全3回

【活動内容】 茗荷谷クラブのマッチングにより支援（同行や訪問等）

※ひきこもり地域共生サポート事業での研修

関心があり、力になりたい (R6調査：14.8%)

文京区 ひきこもりサポーター 養成研修 **参加無料**

ひきこもり支援に関心があり、ひきこもりについての基礎的な知識や文京区の支援についての情報を習得したい方向けの研修です

- ① ひきこもり者への理解：ひきこもりサポーターの基礎的な知識
- ② ひきこもり者への対応：基礎的な知識の置き方のコツやアウトリーチのやり方
- ③ 文京区のひきこもり支援の実情：STEP事業について

定員 **50名** (内定員) 対象：文京区民

日時 **令和8年 7月22日(水)** 午前10時～午前12時

会場 **シビックセンター 211階 2101会議室**

【申込先】 文京区ひきこもり支援センター
【申込方法】 ①電子申請 (右の二次元コードを読み取って申請)
②電話：03-5803-1917
【申込期間】 6月15日(月)～7月16日(木)

申込フォーム

講師 **井利由利氏**
臨床心理士、公認心理師、精神保健福祉士、公益社団法人青少年支援センター副会長、
「茗荷谷クラブ」のチーフスタッフであり、ひきこもりの経験を持っている。

【目的①】関心を持ってくれる人を増やす

関心はある

知識として知っておきたい

サポートしたい

【目的②】知識を身につけた後に実際の活動に参加する人を増やす

令和8年度 ひきこもりアウトリーチサポーター 養成研修のお知らせ

あなたも地域の「安心の盾」に！

約400名にひきこもり支援に関心がある15歳～64歳の区民が、文京区に約4,200人。*

文京区に住む誰もが孤立せず安心して地域で暮らしていくために「ひきこもり」の方々とつながるボランティアを募集します。

※「文京区民生活支援センター」が主催する「ひきこもり支援センター」及び「茗荷谷クラブ」の協賛で開催しています。研修の参加費は無料です。

アウトリーチサポーターとは？
自ら支援を求めることが難しいひきこもりの方々へ、必要な支援を届けることです。

サポーターになったら、何をするの？
研修を修了して登録された方、当事者の方が行方不明になったり、相談しづらい状況になったりした場合、必要に応じて相談しながら活動していきます。最初は、茗荷谷クラブ内の支援活動のサポートから活動が開始されます。

活動がスタートしたら？
30年以上ひきこもり支援をしている団体です。研修や相談、さまざまな相談の場を提供しています。文京区のひきこもり支援事業を支援。

アウトリーチ先はどう決まる？
すでに茗荷谷クラブや区内の連携機関が関わっている当事者のうち、アウトリーチが希望された方です。

1. 令和8年度ひきこもり支援の取組について

ひきこもり地域共生サポート事業 状況報告



M：当事者のメイン相談支援機関
S：支援関係機関

関係機関	M:生活あんしん拠点 S:計画相談、社協、医療 等	M:生活あんしん拠点 S:生活福祉課、B型事業所 等	M:基幹相談支援C S:茗荷谷クラブ、特支学校 等	M:相談支援事業所 S:地域生活支援C、 訪問介護事業所
	Aさん 職業：会社員	Bさん 職業：元会社員	Cさん 職業：福祉職	Dさん 職業：福祉職
サポーター				
ひきこもり当事者	支援状況 Mさん：60代半ば・二世帯 支援継続中	支援状況 Nさん：50代前半・単身世帯 支援継続中	支援状況 Oさん：10代後半・三世帯 終結	支援状況 Rさん：30代前半・単身世帯 支援継続中
	詳細 サポーター訪問前に準備をしてもてなしたり、世間話を楽しんだ。当初一人での外出は難しかったが、本人からサポーターを誘って一緒に買い物や居酒屋に出かけたり、新たな近所付き合いができつつある。今度は趣味だった釣りを再開したいと自ら目標を立てている。	詳細 買い物や区役所、B型事業所への同行のほか、支援者とともに自宅内の物干し設置を手伝うなどの生活面のサポートも行っている。以前より確認行為が減り、一人で行けることやB型事業所での行事参加が増えるなどの生活に広がりが見られている。	詳細 サポーター訪問では母と3人で雑談。促されるとサポーターに色々な質問をしてくれ、会話が進む様子もあった。特別支援学校を卒業後、4月からはB型事業所に通所することを自分で決めることができ、終結となった。	詳細 近隣に住む母が本人の通院に付き添うのが難しくなり、通院同行の形でサポート開始。支援者に対しては依存的になる傾向があったが、サポーターとは適度な距離感で会話できるなど、本人の新たな側面が見られた。現在本人入院中のため、一時休止中。

2. 令和8年度ひきこもり支援の取り組みについて

(3) 広域連携支援の取組



文京区、千代田区、台東区による3区連携 → 中央区が加わり4区連携事業へ（今年度～）

周囲の目による近隣へのアクセスのしづらさという課題を乗り越えるため、区の垣根をまたいだ広域連携支援を実施。講演会、個別相談会、茶話会の相互利用

◆ R7年度 文京区民参加実績 25名（台東区開催11名、千代田区開催14名）



◆ 令和8年7月18日中央区開催

- ・ 講演会59名（中央区22名、台東区2名、**文京区4名**、都内16名、都外11名、その他3名）
- ・ 座談会6名（中央区6名）
- ・ 個別相談 5組6名（中央区4組、**文京区1組2名**）



告知データを提供、各区にて情報発信

3区相互にホームページにより情報発信。相互利用が認知されはじめ利用者数が増加傾向。

ひきこもりUX女子会（令和4年度～）

ひきこもり状態にある女性と家族を対象、申込不要のイベント。

令和7年度 10自治体

文京区、新宿区、杉並区、豊島区、武蔵野市、昭島市、日野市、国分寺市、国立市、東大和市



令和8年度 13自治体

港区、新宿区、文京区、杉並区、豊島区、立川市、武蔵野市、府中市、昭島市、日野市、国分寺市、国立市、東大和市



令和8年度も参加自治体の増加により開催場所、曜日のバリエーションを広げて開催。

3. 令和8年度文京区ひきこもり支援活動計画



【STEP事業】

講演会

日時	内容	講師
6月27日	「わが子の“いま”をどう受けとめるか ー不登校と向き合う親のためのお話 ～臨床心理の第一人者が語る、 子どもの心の理解と支え方～」	野村一彦 氏 (九州大学名誉教授)
10月25日	「ひきこもりと向き合う家族のチカラ」	福井里江 氏 (東京学芸大学教授)
2月23日	(仮) “なぜ助けられないのか ー若者のリストカットとオーバードーズ を理解するー”	松本俊彦 氏 (精神科医)

講演会 3回
対象：区民・家族

茶話会 6回
対象：家族

ほか 広域連携
(文京・千代田・台東)

茶話会

日時	内容	対象
5月9日	茶話会	家族等
7月25日		家族等
9月5日		家族等
11月14日		家族等
1月9日		家族等
3月13日		家族等

【UX女子会】

日時	内容	場所等
5月26日	女子会 つながる待合室	国立
6月22日		日野
7月11日		武蔵野
7月26日		東大和
8月19日		杉並
9月10日		文京
10月8日		国分寺
10月29日		港区
11月30日		昭島
12月17日		豊島
1月13日		府中
2月前半		新宿
2月後半		立川

【研 修】

日時	内容	対象
7月16日	HDSK会(富坂・本富士)	支援機関職員
7月22日	ひきこもりサポーター養成研修	文京区民
9月14日	HDSK会 (駒込・大塚)	支援機関職員
9月17日	ひきこもり支援従事者研修 (近藤先生SV・第1回アセスメント)	福祉、教育、保健分野等で業務に従事している支援従事者
11月19日	ひきこもり支援従事者研修 (近藤先生SV・第2回事例検討)	福祉、教育、保健分野等で業務に従事している支援従事者